

令和4年度 国語科

教科	国語	科目	現代文A	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「現代文A」改訂版 (大修館書店)						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定7～2級対応 書きたくなる アシスト常用漢字 (数研出版) ・リテラ速読レッスン 論理 vol.2 (文英堂) 						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・2年では高校全教科及びこれからの生活の基礎になる読むこと・話すこと・聞くこと・書くことを習得します。さらに進学後や社会に出てから必要な言語や習俗に関する教養を養います。
- ・読むことを基本にしつつ文章記述やプレゼンテーションなどの表現学習にも取り組んでいきます。
- ・小説では人物の詳細な心情 (心情の変化) を読み取ることと、表現できることを心がけていきましょう。
- ・評論文では論理的なものの考え方を学び、幅広い教養を養えるようにしましょう。
- ・授業内の課題はもちろんのこと、提出物、漢字小テストなどにも目的を理解して取り組みましょう。

2 学習の到達目標

- ・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
- ・目的や場に応じた的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
- ・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
- ・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
観 点 の 趣 旨	国語に対する関心を持ち、「読む」「書く」「話す、聞く」「知識、理解」の向上を図ろうとしている。	文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえることができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などを理解し、知識を身に付けている。
評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認 (ノート, プリント, ワークシート) 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動における発言内容や態度) ・記述の確認 (ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動の観察 (学習活動における発言内容) ・記述の確認 (ノート, プリント, ワークシート) ・定期考査
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	d	e		
1 学期	評論	政治の基本は民主主義	○	◎	○	a:筆者の考えを的確に把握し、自分自身の問題として捉え、自分自身を見直そうとしている。 d:人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりの考察ができています。 e:語彙を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d,e:記述の確認及び定期考査
	小説	山月記	○	◎	○	a:作品の時代背景や情景を理解しようとしている。 d:人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているかを捉え、登場人物のものの見方を捉えている。 e:技法や表現の特色を理解する。	a:行動の観察 d,e:記述の確認及び、定期考査
	言語活動	スピーチ 小論文	◎			a:自分の意見を論理的に根拠を明確にして説明しようとする。	a 行動の観察
	語彙	国語常識 (四字熟語 等)			◎	e:技法や表現の特色を理解する。	e 定期考査
	小説	こころ	○	◎	○	a:作品の時代背景や情景を理解しようとしている。 d:人物、情景、心情などをどのように書き手が描いているかを捉え、登場人物のものの見方を捉えている。 e:技法や表現の特色を理解する。	a:行動の観察 d,e:記述の確認及び、定期考査

2 学 期	評 論	和の思想、間の文化 実体の美と状況の美	○	◎	○	a:同じテーマ（文化）について認識を深めようとしている。 d:同じテーマを扱った評論文を比較し、それぞれの筆者の主張の違いを読み取っている。 e:語彙を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d、e:記述の確認 及び定期考査
	言 語 活 動	スピーチ 小論文	◎			a:自分の意見を論理的に根拠を明確にして説明しようとする。	a 行動の観察
	語 彙	国語常識 (文学史 等)			○	e:技法や表現の特色を理解する。	e 定期考査
3 学 期	評 論	「考える葦」であり続ける	○	◎	○	a:筆者の考えを的確に把握し、自分自身の問題として捉え、自分自身を見直そうとしている。 d:人間や社会、自然などについての視野を広げ、自分なりの考察ができています。 e:語彙を正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d、e:記述の確認 及び定期考査
	言 語 活 動	プレゼンテーション 小論文	◎			a:自分の意見を論理的に根拠を明確にして説明しようとする。	a 行動の観察

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 d:読む能力 e:知識・理解

※ 評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域に関わる観点には◎を付している。